

第41回福証IRフェア 会社説明資料

株式会社フロンティア

証券コード | 4250

c o n t e n t s

01 会社概要

02 市場環境

03 業績ハイライト

04 事業概要

05 当社の強み

06 成長戦略



会社概要

COMPANY INFORMATION

会社概要

会社名 株式会社フロンティア（英文称号：Frontier Inc.）

設立 2003年12月

所在地 本店 福岡市中央区天神二丁目3番36号ibbfukuoka
山口支店 山口県周南市大字櫛ヶ浜134番地の5

海外子会社 新城國際香港有限公司
[所在地] Unit 10/A, 32/F, Cable TV Tower, 9
Hoi Shing Road Tsuen Wan N, T, Hong Kong

資本金 57,635千円 単体

役員員数 16名 [2022年11月末現在] 単体

上場市場 福岡証券取引所 Q-Board 証券コード 4250

経営陣プロフィール



代表取締役社長

山田紀之

山田紀之 | 代表取締役社長

10歳から始めた空手では、重量級で全国3位という記録を残すなど、選手として活躍する一方でトヨタ系ディーラーのメカニックとして従事。怪我で止むなく空手を引退するも、「自動車ユーザーに自由な発想で最高のサービスを提供できる環境」を求め、起業することを決意。空手で鍛えた根性とディーラーで培った整備技術、さらには開拓者精神をもって、2002年1月に中古自動車の販売を目的とした「CAR フロンティア山田」を個人事業として創業。その翌年の2003年には、事業を世界中で展開したいと考え、中国のダイナミズムに目をつける。未知の領域だったものの、単身で香港に渡りビジネスを模索。現在の主力事業である自動車のアフターパーツの販売を開始する。

立石直孝 | 常務取締役兼営業部長

2002年9月にCAR フロンティア山田に入社。2006年12月に常務取締役役に就任。1997年より自動車ディーラーで販売に携わるなど業界を熟知している。営業部長として当社の営業面を統括。

長弘俊哉 | 取締役

2011年4月に当社子会社（フロンティア香港）に入社。2015年当社取締役就任。2007年よりアジアを中心に展開する電子部品商社に経験を積む。フロンティア香港の董事総経理として、工場管理およびOEM/ODM 事業を統括。

前田 隆 | 取締役

2016年2月に経営コンサルタントの知見を活かし当社社外取締役に就任。

内田 健二 | 取締役

2022年2月に公認会計士として財務・会計及び税務の知見を活かし当社社外取締役に就任。

檜崎俊治 | 常勤監査役

人事総務全般の実務経験および業務システムに関する幅広い経験、知識を有し2017年9月より当社監査役に就任。

小野智博 | 監査役

弁護士として活躍するほか、国内企業の海外進出コンサルを手掛ける等の経験を有し、2019年11月より当社監査役に就任。

柳野 敦 | 監査役

金融機関における経験の他、当社の執行役員管理部長を務める等、企業経営における豊富な経験・専門的な見識を有し、2022年2月より当社監査役に就任。

新たな価値の創造による 新たな領域の開拓

—— Be Frontier. 開拓者たれ ——

経 営 理 念 (ビジョン)

私たちは、
新たな領域を開拓する情熱を忘れず、
常に変わりゆく環境に対して、
的確に対応できるよう成長を続け、
世界に新しい価値を提供し続ける
企業でありたい。

沿革



中古自動車の販売 (2011年12月に事業譲渡)

インターネットによるアフターパーツの販売

自社開発のサイドバイザー販売及び卸売 [PB販売事業]

電子玩具の製造販売 [OEM/ODM事業]

事業内容

ファブレスメーカーとして、製品の企画開発・品質管理・納期管理・輸入・販売までのプロセスを一貫して有しております。「**新たな価値の創造による新たな領域の開拓**」を企業理念とし、当面は自動車のアフターパーツ市場に狙いを定め、以下の2つの事業区分にて事業を展開してまいります。

PB 販売事業

当事業は、当社が企画設計したオリジナル製品を次の2つの部門で展開しております。

B2B部門

自動車用品（サイドバイザー・フロアマット等）のアフターパーツ（注1）を委託工場にて製品化（注2）し高品質・低価格を実現。自動車販売店や自動車部品卸売業者へ販売しております。

インターネット通販部門

個人顧客を対象に、ウェブサイトにて販売しております。

注1アフターパーツとは、自動車及び主要部品組み立て後に取付ける多種多様な自動車部品のことを言います。
注2フロアマットの一部は2022年12月に操業を開始した山口工場において生産しております。

OEM/ODM 事業

当事業は、当社連結子会社である新城国際香港有限公司の主たる事業です。

顧客が要望する商品の製造を当社連結子会社もしくは当社にて受託。当社グループで選定した工場にて製品化し、顧客に納品しています。主な取扱商品は、タブレット端末や玩具などの電子機器製品です。PB販売事業で蓄積したノウハウを活用し、多品種小ロットのOEM/ODM（注）対応を行っております。

（注）
OEM：委託者が製品の開発から設計までを行い、製造のみを委託する方式
ODM：受託者が製品の設計から受託する方式

取扱商品

P B販売事業



サイドバイザー



フロアマット



ナンバーフレーム

OEM/ODM事業



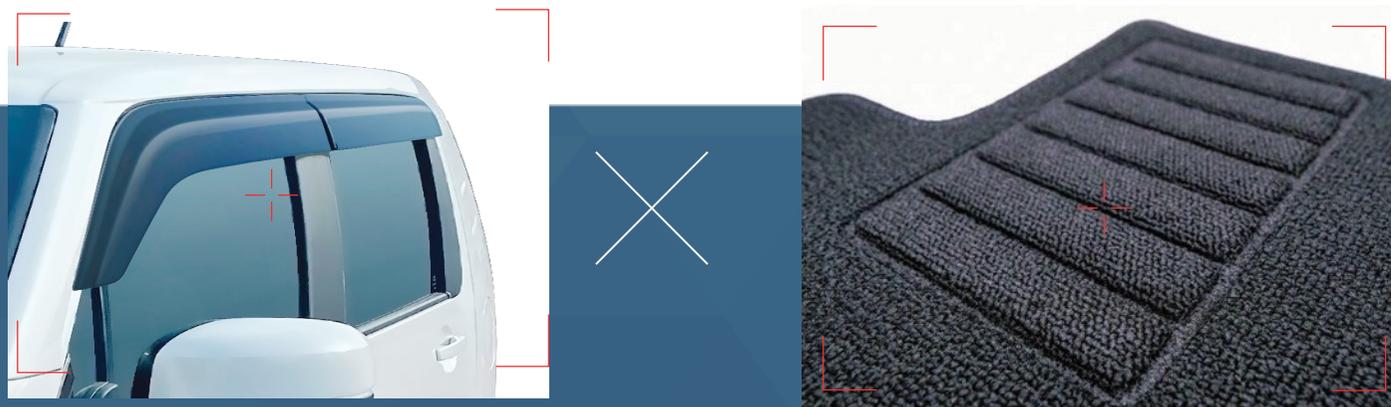
児童向けパソコン玩具

注) 最終製品にはキャラクターがプリントされておりますが、著作権保護の為、本会社説明資料では加工しております。

当社主力製品
—PB販売事業

— サイドバイザーとフロアマット —

数多くのアフターパーツの中から、サイドバイザーとフロアマットを主力製品と位置付けて市場を開拓！



純正品は国内で製造され、系列店の流通コストが販売価格に転嫁されています。

当社の社外品は、アフターパーツの社外品で中国の委託工場にて製造し、商社や販売店、EC サイトを通じて販売しています。(注)

当社の製品は、PB商品で高品質・低価格を実現しております。

(注) フロアマットの一部については、2022年12月に操業を開始した山口工場にて生産しております。

当社主力製品
—OEM/ODM事業

電子玩具

顧客に寄り添って企画開発段階から積極的に関わることで課題の解決を実現。



顧客の課題を解決するため、海外ビジネスで培った経験やサプライチェーンを活用し、高い技術力を有する製造工場を選定し、顧客の商品開発の段階から部品選定や製造工程の改善提案等、積極的に関わることで顧客の求めるQCD（Quality：品質、Cost：価格、Delivery：納期）を充たす製品を製造しております。

注) 最終製品にはキャラクターがプリントされておりますが、著作権保護の為、本会社説明資料では加工しております。

A background image showing a business meeting. Several people in business attire are gathered around a table, looking at and pointing to various documents and charts. The scene is dimly lit, with a blue tint. The charts include bar graphs and pie charts. The overall atmosphere is professional and collaborative.

市場環境

MARKET INSIGHT

主力であるアフターパーツマーケットの特徴

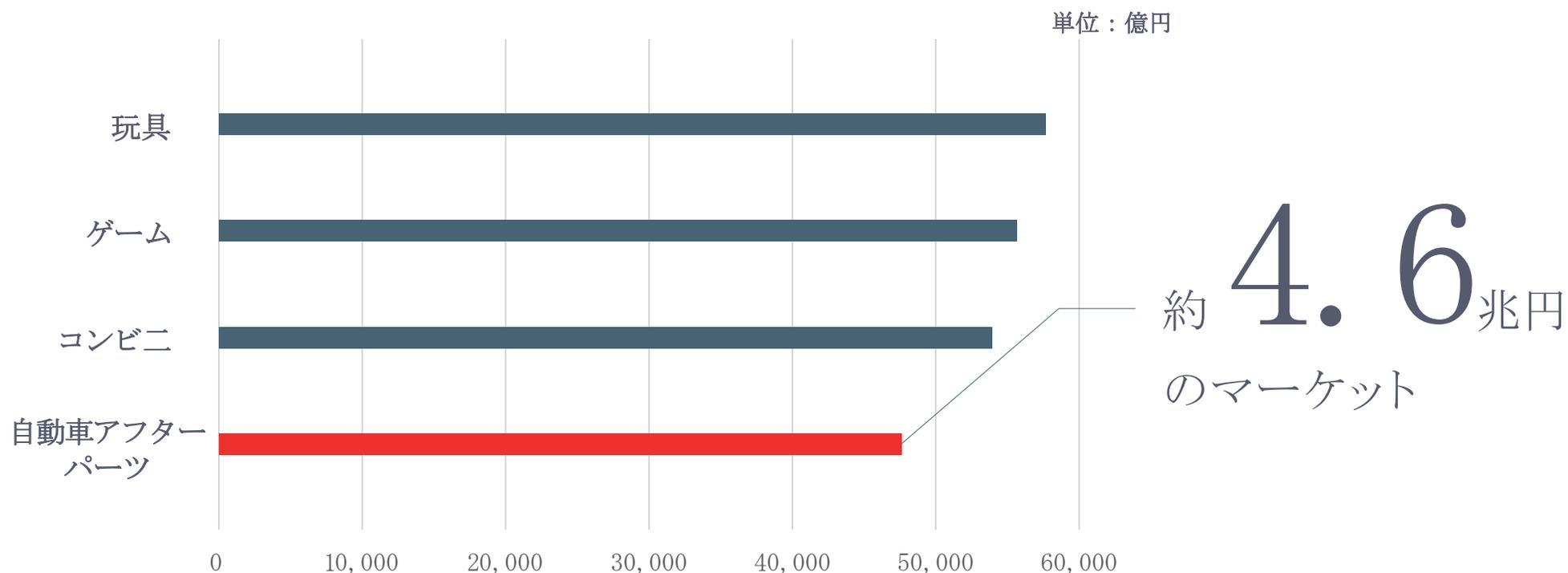
01 市場規模が**約5兆円**と大きなマーケットであること

02 自動車メーカーが正規の販売網で供給する純正品が中心の市場であり、**社外品は後発**で少数派

大きな市場規模

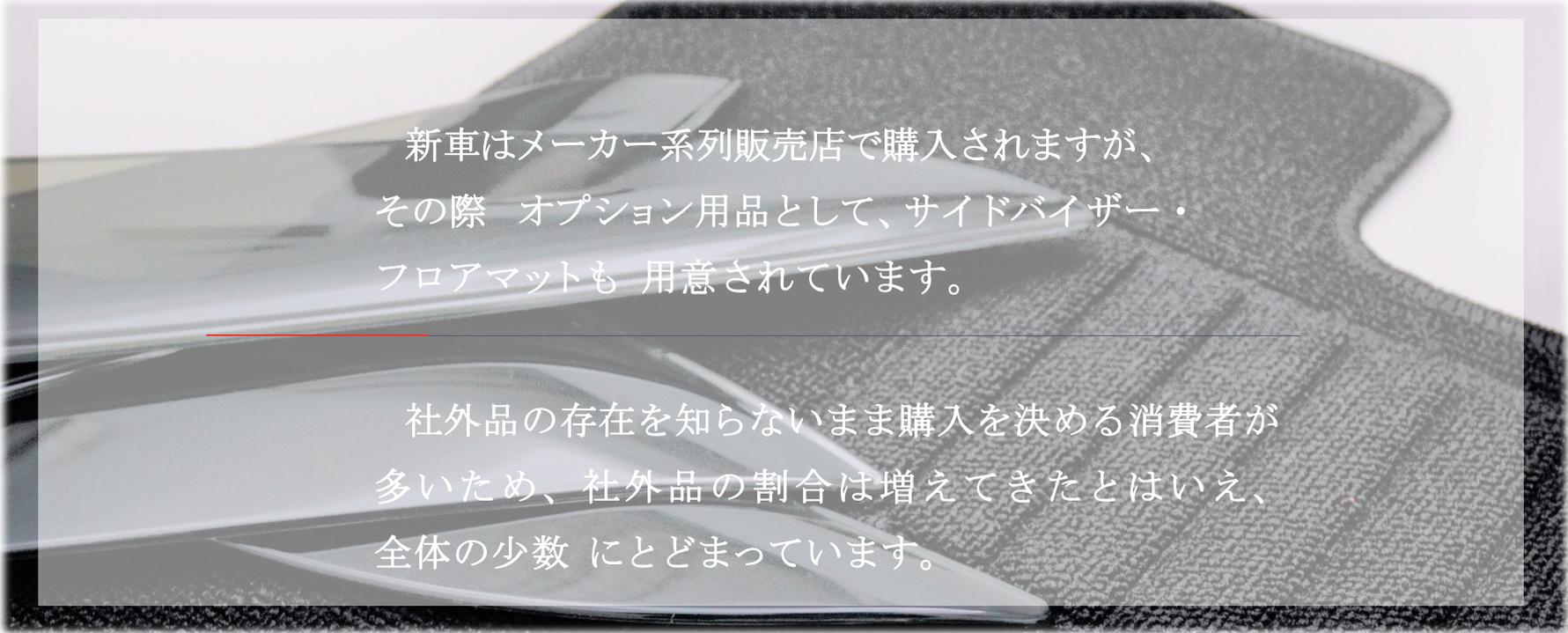
アフターパーツはタイヤをはじめ多数の商材があり、2021年度の国内市場規模は45,982億円とゲーム業界やコンビニ業界に次ぐ、大きなマーケットです。当社の主力製品であるサイドバイザー、フロアマットだけをとってもその市場規模は1,448億円（2021年度）となっています。

（出展：株式会社自動車新聞社月刊アフターマーケット別冊2022自動車部品・用品マーケット要覧 品目別末端市場規模2021年度より）



出展：業界動向サーチ 業界別 業界規模ランキング（2019年版）

純正品と社外品



新車はメーカー系列販売店で購入されますが、
その際 オプション用品として、サイドバイザー・
フロアマットも 用意されています。

社外品の存在を知らないまま購入を決める消費者が
多いため、社外品の割合は増えてきたとはいえ、
全体の少数にとどまっています。

インターネットを通じて、得られる情報が増えたことで、消費者が社外品の存在を認知するようになりました。
そのため、**社外品の購入割合は年々増加し、今後も社外品マーケットの成長が期待**できます。

The background of the slide features a dark blue color scheme with a grid pattern. A world map is faintly visible, with a red line tracing a path across it. On the left side, there are stylized data charts, including a bar chart and a line graph. The overall aesthetic is professional and data-oriented.

業績ハイライト

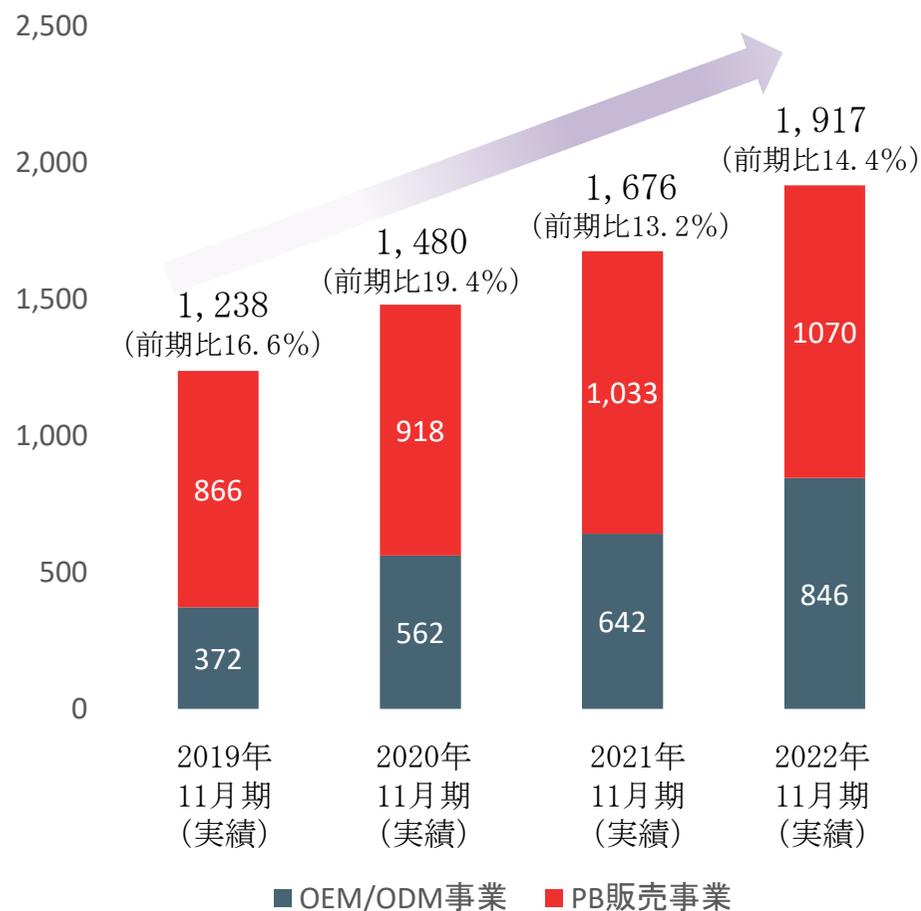
Performance HIGHLIGHTS

グループ売上高と経常利益の推移

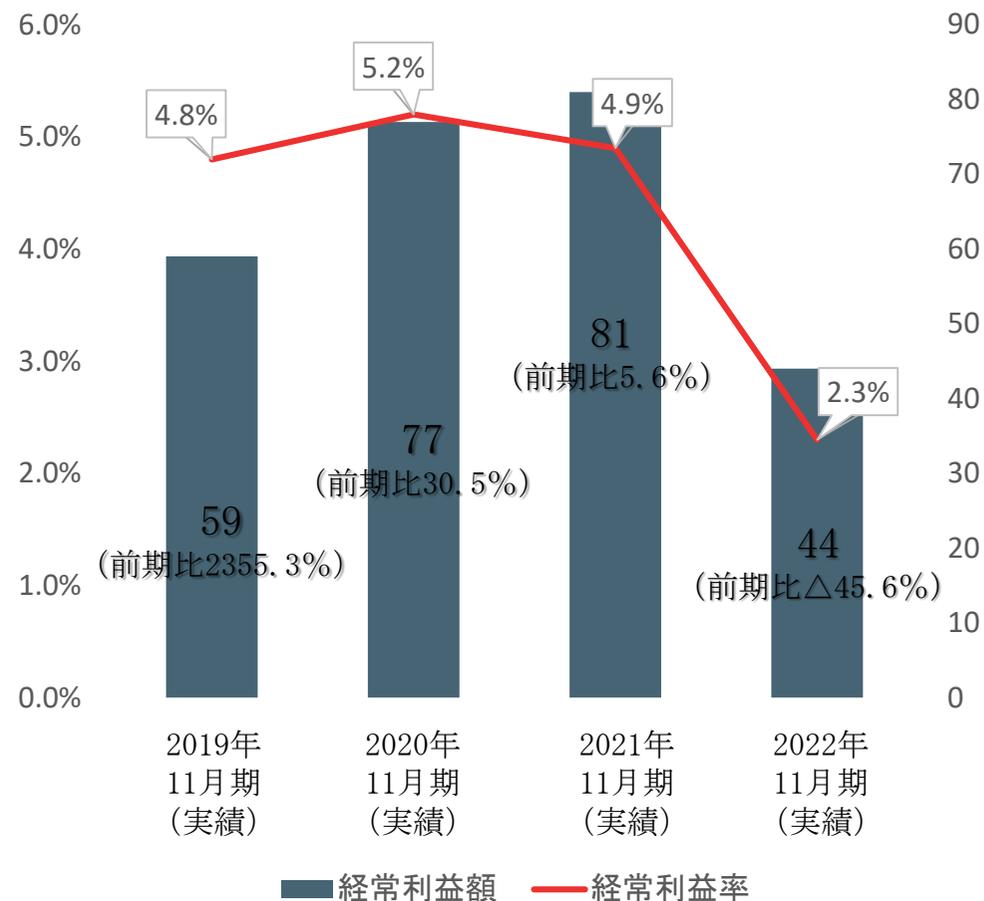
主力のPB販売事業での成長を目指しつつ、OEM/ODM事業で安定した受注基盤を構築して参ります。

2022年11月期の全社売上高は1,917百万円（前期比14.4%増）、経常利益は44百万円（前期比45.6%減）の増収減益となりました。

(単位：百万円)



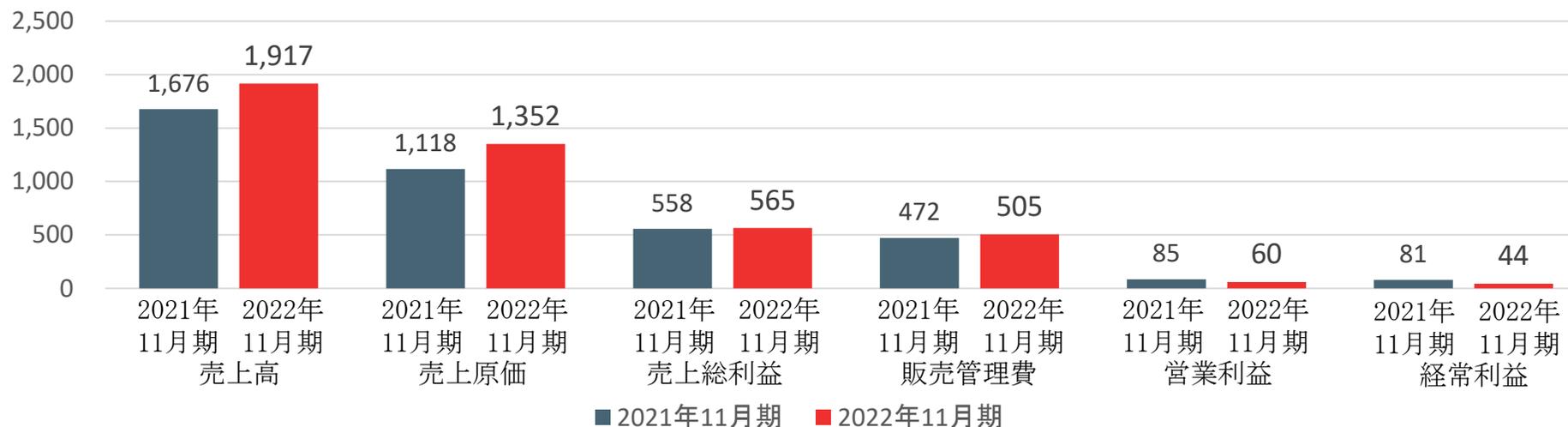
(単位：百万円)



2021年11月期実績及び2022年11月期実績の比較

2022年11月期は2021年11月期と比べグループ全体で14.4%の増収、経常利益45.6%の減益となりました。

(単位：百万円)



売上高：1,917百万円（前期比 13.2%増）

PB販売事業では、1,070百万円（前期比3.6%増）
OEM/ODM事業では、846百万円（前期比31.7%増）

販売管理費：505百万円（前期比 6.9%増）

販売管理費率は26.3%（前期比1.8ポイント減）
販売管理費は、人件費の増加及びフォーマット工場における製品の研究開発費の増加によって6.9%増

売上総利益：565百万円（前期比 1.3 %増）

売上総利益率は29.5%（前期比3.8ポイント減）

営業利益：60百万円（前期比 29.4%減）

営業利益率は、3.2%（前期比2.0ポイント減）

2023年11月期第1四半期の業績と為替の影響について

1. 2023年11月期第1四半期の業績

(単位：千円)

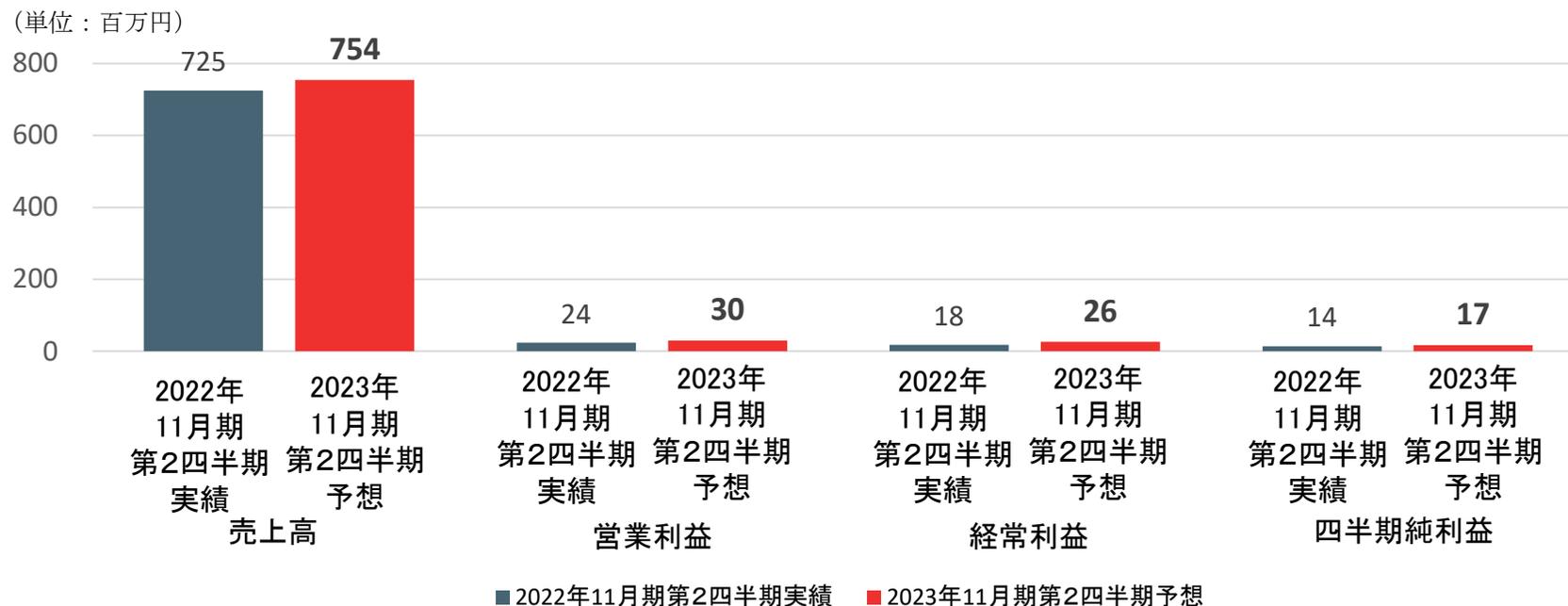
	2022年11月期1Q	2023年11月期1Q	対前年同 四半期増減
売上高	352,358千円	369,742千円	4.9 %増
営業利益	5,135千円	14,677千円	185.8 %増
経常利益	3,913千円	11,358千円	190.2 %増
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,662千円	6,594千円	80.0 %増

2. 為替の影響について

2023年11月期想定レート	1円の変動による売上総利益への影響
135.00円	約±5百万円

2023 年 11 月期業績予想

2022年11月期第2四半期業績予想



売上高：754 百万円 (前期比 4.0%増)

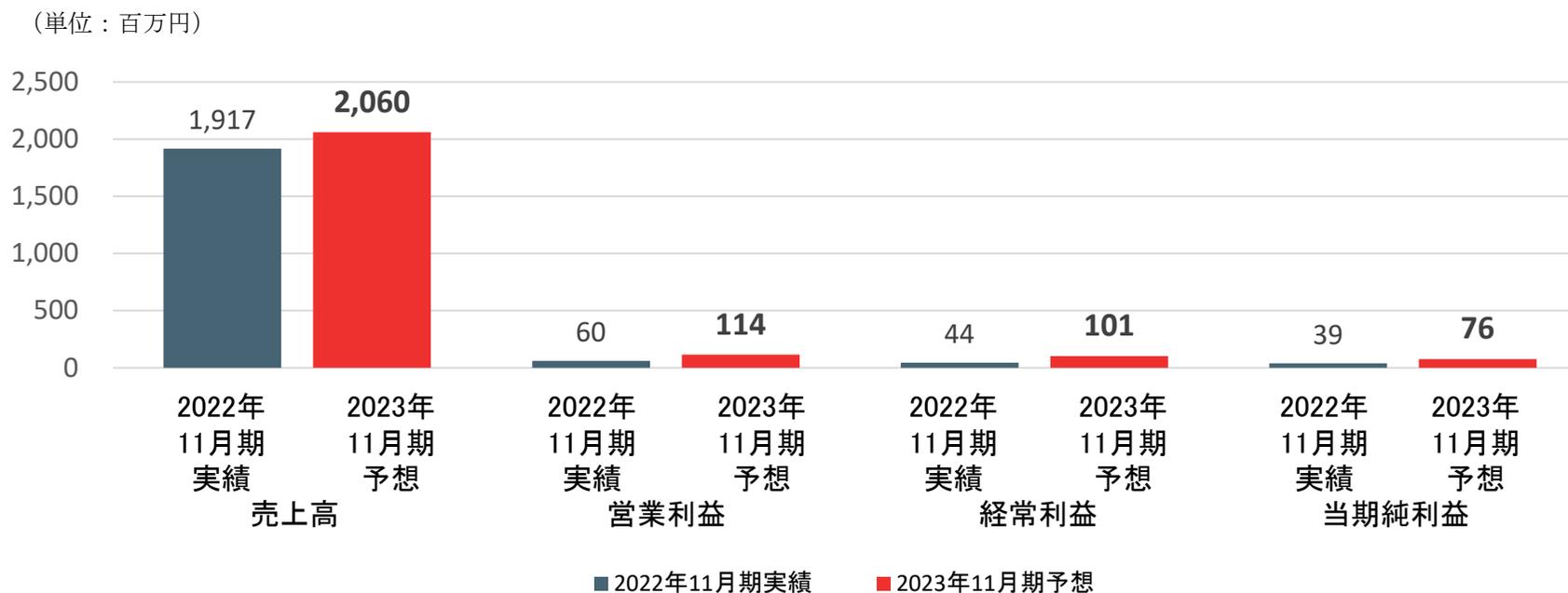
営業利益：30百万円 (前期比 24.4%減)

経常利益：26百万円 (前期比 41.8%増)

四半期純利益：17百万円 (前期比 17.9%増)

2023 年 11 月期業績予想

2023年11月期通期業績予想



売上高：2,060百万円（前期比 7.4%増）

営業利益：114百万円（前期比 89.6%増）

経常利益：101百万円（前期比 128.9%増）

当期純利益：76百万円（前期比 96.21%増）



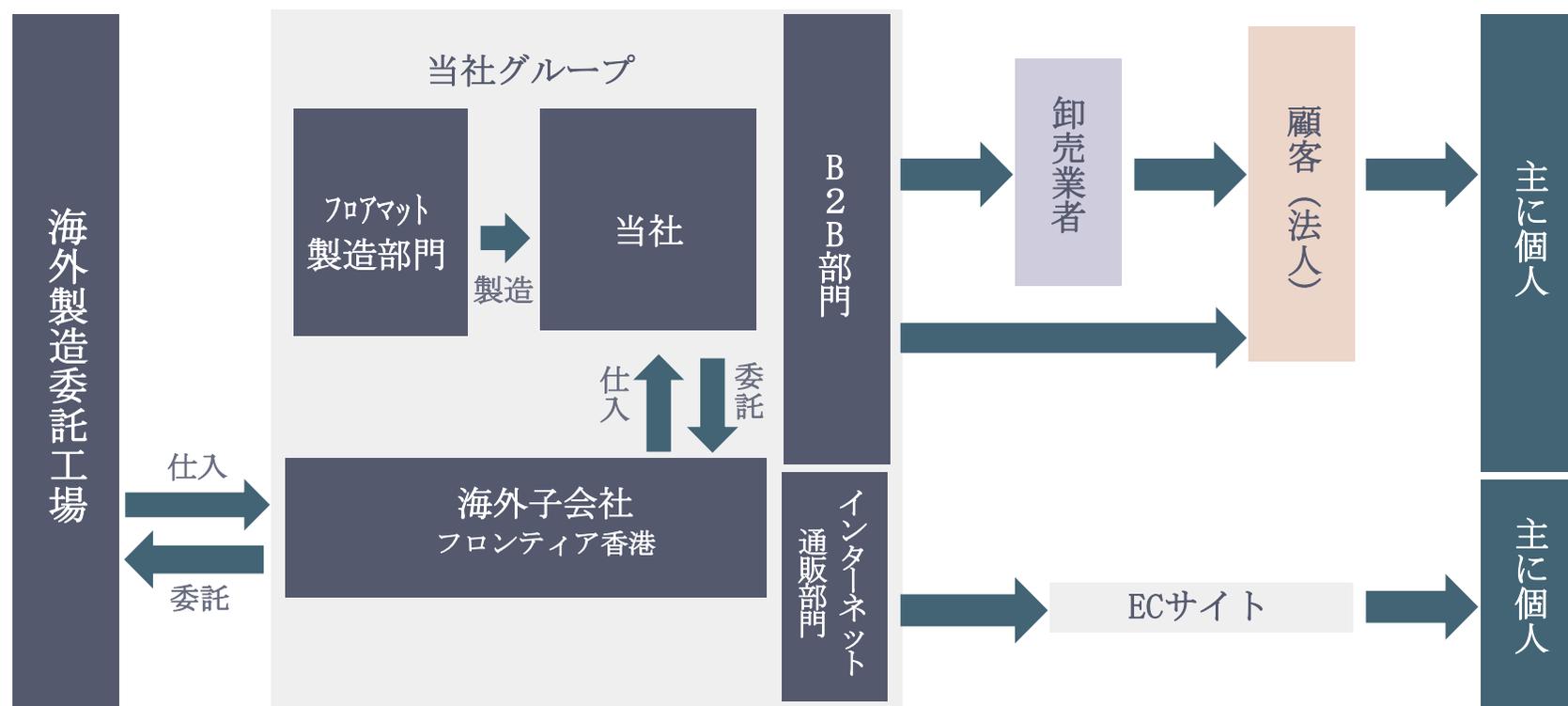
事業概要

BUSINESS SUMMARY

P B 販 売 事 業

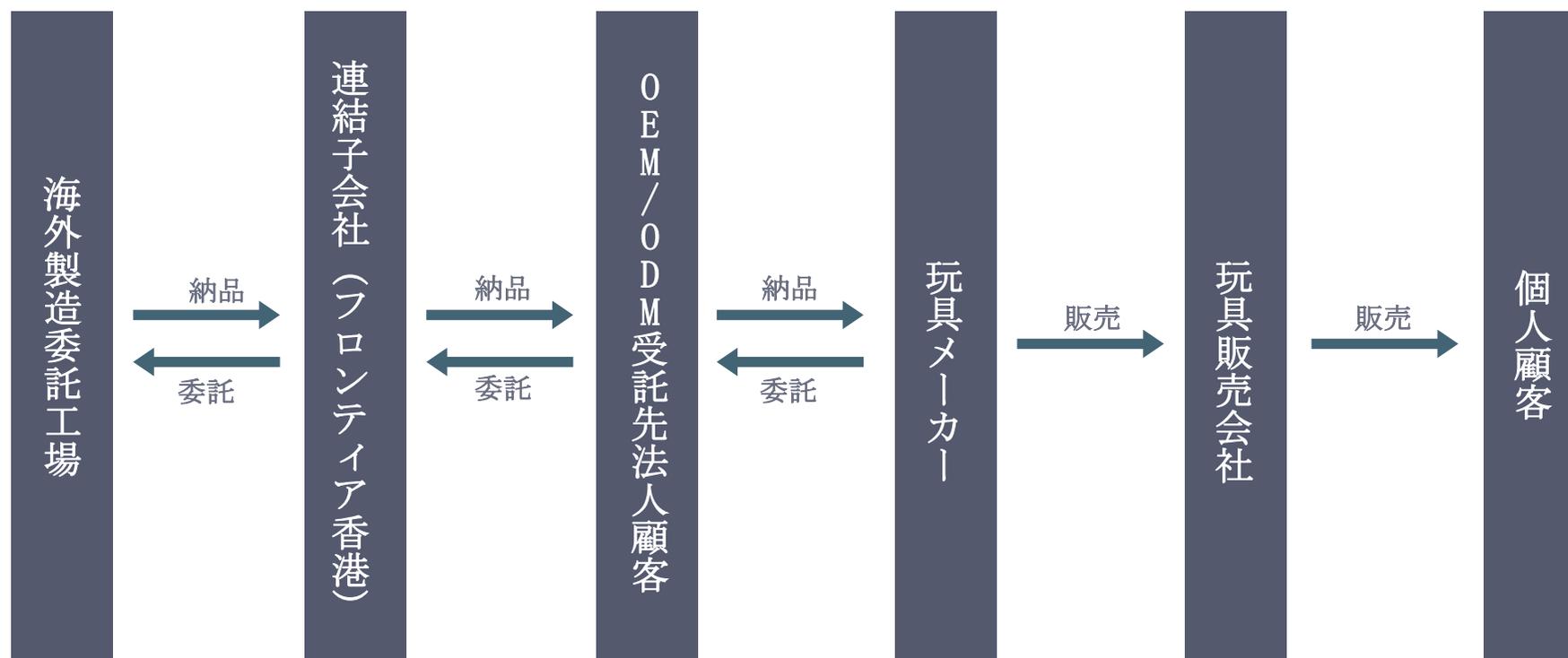
2006年11月に、国内企業としては初めての社外品サイドバイザーを提供しました。それ以来、サイドバイザーは当社の主力製品です。現在も国内で社外品のサイドバイザーを製造している企業は2社しかありません。新規参入の可能性も低い
ため、ブルーオーシャンで拡大している市場です。

当社のサイドバイザーは、純正品と同様の射出成型で製造しており、高い装着感を実現しています。現在はサイドバイザーに加え、フロアマット・ナンバーフレーム枠も取り扱っており、フロアマットにおいては、国内に山口工場を設立し、量産品として在庫を持つことが難しかった車種のフロアマットの製造や、高級品質のフロアマットの製造を行っております。今後も競合が少ない自動車のアフターパーツを主力事業としていく所存です。



O E M / O D M 事 業

児童向けパソコン玩具・タブレット型玩具などを国内玩具メーカーから受託生産しております。これらの製品は、多くの半導体やソフトウェアを採用するため、開発・製造工程が他の玩具よりも複雑になります。そのため、製造するに当たって電子機器工場と同等の技術力・生産管理能力が必要です。当社が培った中国国内に有するサプライチェーンとその生産管理手法を提供し、高品質・短納期を実現しております。



(注)

OEM：委託者が製品の開発から設計までを行い、製造のみを委託する方式

ODM：委託者が製品の設計から受託する方式



当社の強み

OUR STRENGTHS

01 積み上げ型ビジネスとしての安定性

02 競争力の高い主力製品

03 競合する企業が少ないブルーオーシャン (注1)

04 工場管理に特化したファブレス形態 (注2)

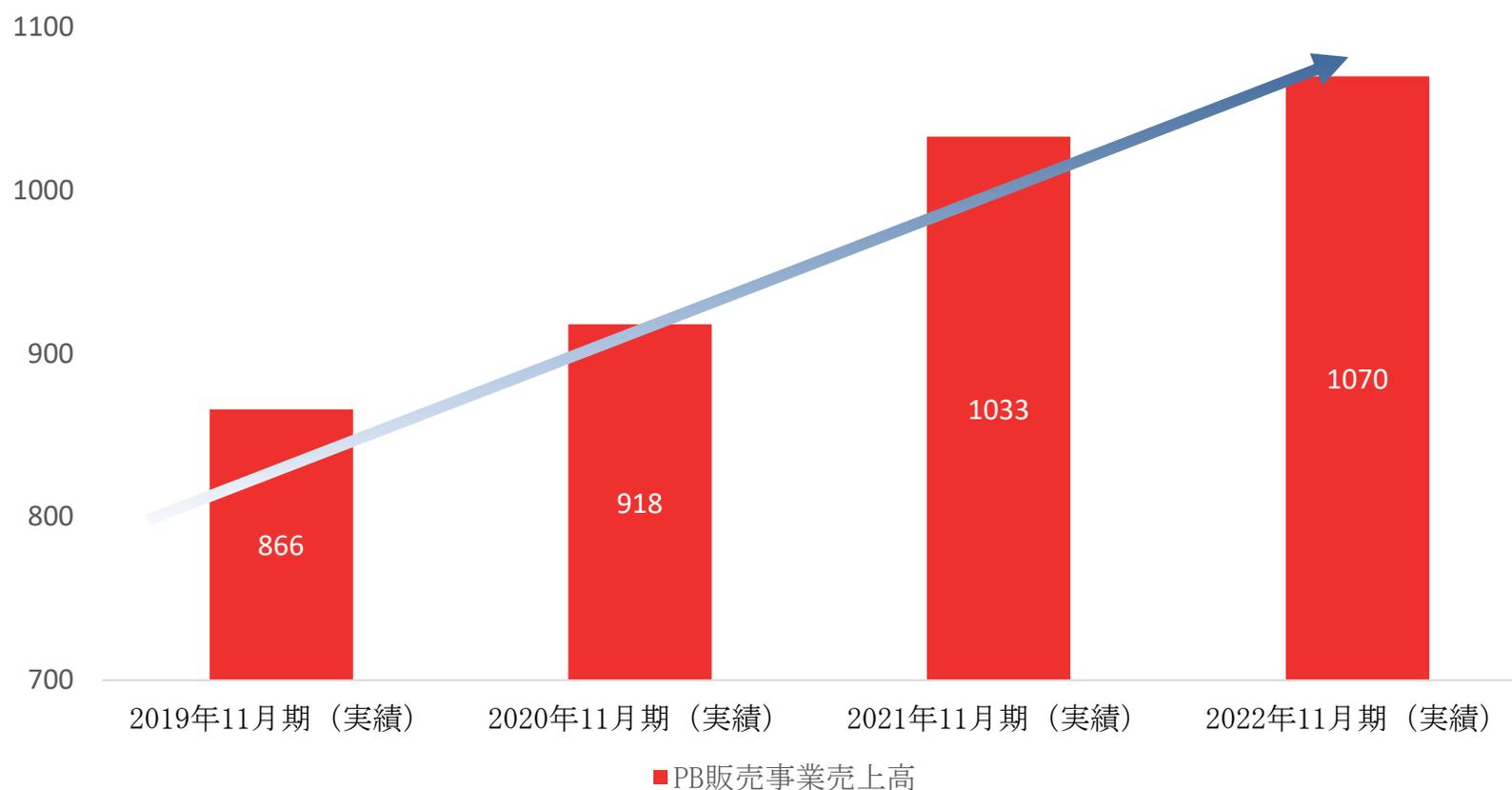
注1 ブルーオーシャンとは経営学の用語で、競争のない未開拓市場のこと。新しい商品やサービスを開発・投入することで創出される競合相手のいない市場のこと。

注2 フロアマットの一部については、2022年12月に操業開始した山口工場にて生産しております。

積み上げ型ビジネスとしての安定性

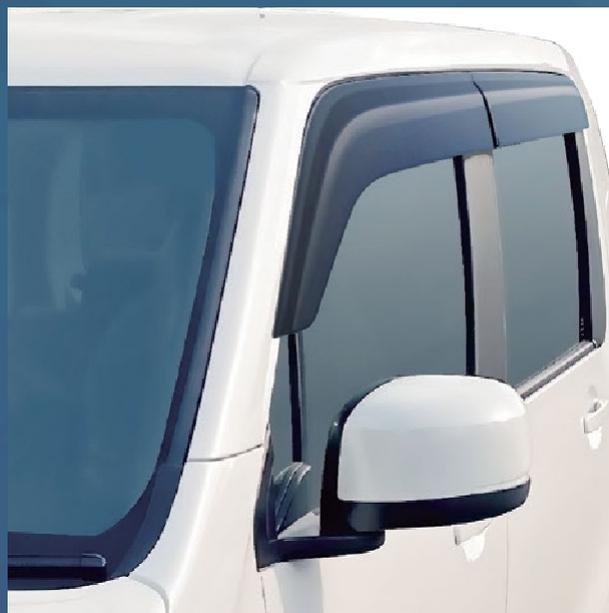
当社の顧客の大半は法人顧客であり、一旦取引が開始されると高品質低価格の商品として継続購入されやすいといった特徴があります。安定した既存顧客との取引に新規顧客との取引が蓄積されるビジネスモデル

単位：百万円



競争力の高い主力製品（サイドバイザー）

——— 純正品と同様に射出成型（インジェクション成型）で開発



中国の企業で製造することで、高品質かつ低価格を実現

粘着力2倍の強力両面テープでしっかり密着

自社開発した特許※の留め具によって取付工数が4分の1

簡単設置で作業時間が2分の1

純正品よりもワイドな設計で雨よけ効果抜群

2022年11月末時点90個余りの金型を保有する等先行優位を確立

課題

従来の自動車用ドアバイザーの取付け用ブラケットは掴み難く、作業が難しいという問題がありました。

解決手段

本発明の自動車用ドアバイザーの取付け用ブラケット1は、ドアバイザーに設けられた先端を膨らませた突起に係合する複数の係合爪18が一体に内面に形成されている円筒17と、円筒17の前記ドアバイザーに係合させる側の端とは反対側の端には、前記反対側の端の円筒17を形成する側壁から円筒17の外側に向かって膨らみながら、円筒17を略2分割するように所定の幅で橋渡しする橋渡し部21が設けられている。

図1
ブラケット

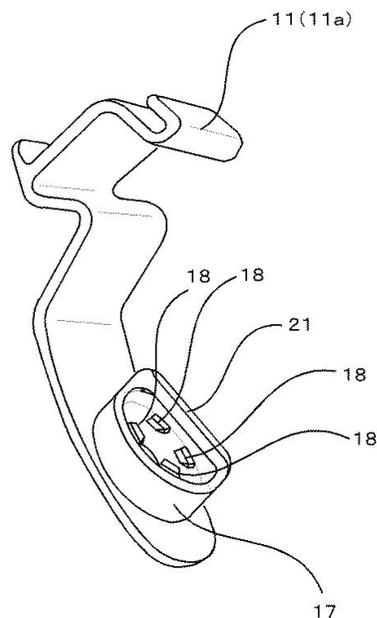
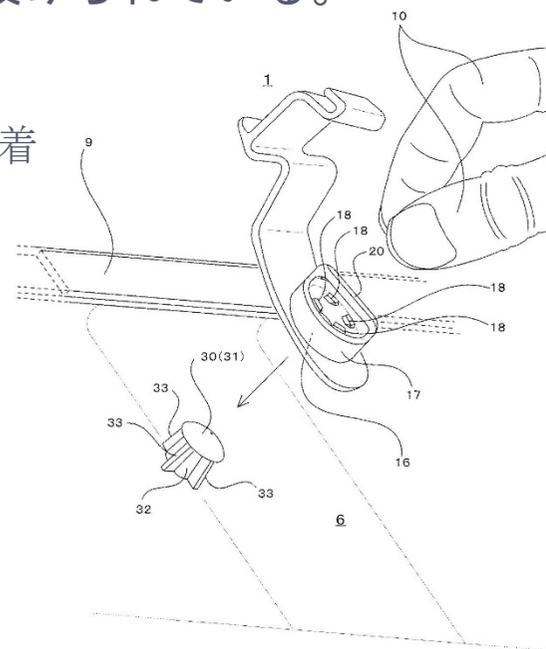


図2
ブラケット装着



競争力の高い主力製品（フロアマット）

—— 軽くてズレにくいししっかりとしたつくりを実現



中国の企業で製造することで、高品質かつ低価格を実現

2分の1の重さ(当社比)なので、お掃除もラクラク

高い耐久性と安全性かつ純正品に劣らない高級感

防水性を備えているため、雨の日や雪の日でも快適

車種に合わせた設計で絶妙なフィット感を実現

2022年12月より操業を開始した山口工場において量産品では生産が難しかったフロアマットの製造の他、高級品質のフロアマットの製造を行っております。

対応できる商品数が格段に増えたことによって、これまで発生していた機会損失を減らすことができ、他社から当社に切り替える取引先も増えてきております。

競合企業の少ないブルーオーシャン

社外品アフターパーツの市場は、ニッチではあるが競争の少ない領域。

ブルーオーシャン

①参入障壁

- ・ 多種類の金型作成が必要。
- ・ 圧倒的な純正品市場。

②あまり認知されていない市場。

③高品質・低価格の社外品が少ない市場。

④競合する会社が少ない市場。

工場管理に特化したファブレス形態

ファブレスメーカーの弱点でもある生産管理・品質管理を
フロンティア香港が、現地において徹底サポート

[PB 販売事業] 注



[OEM/ODM 事業]



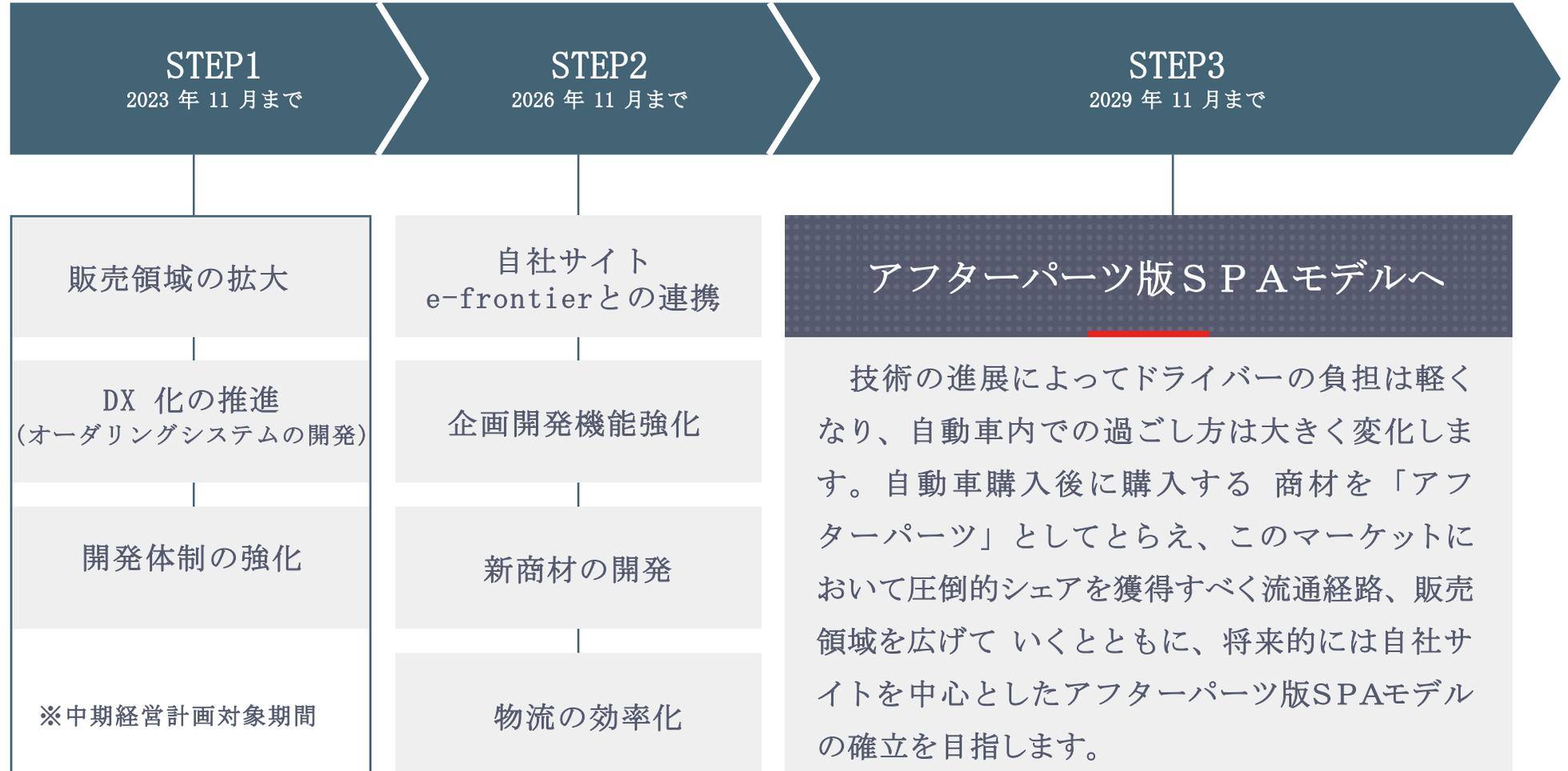
注) PB販売事業のうちフロアマットの一部は国内マット工場にて製造しております。



成長戦略

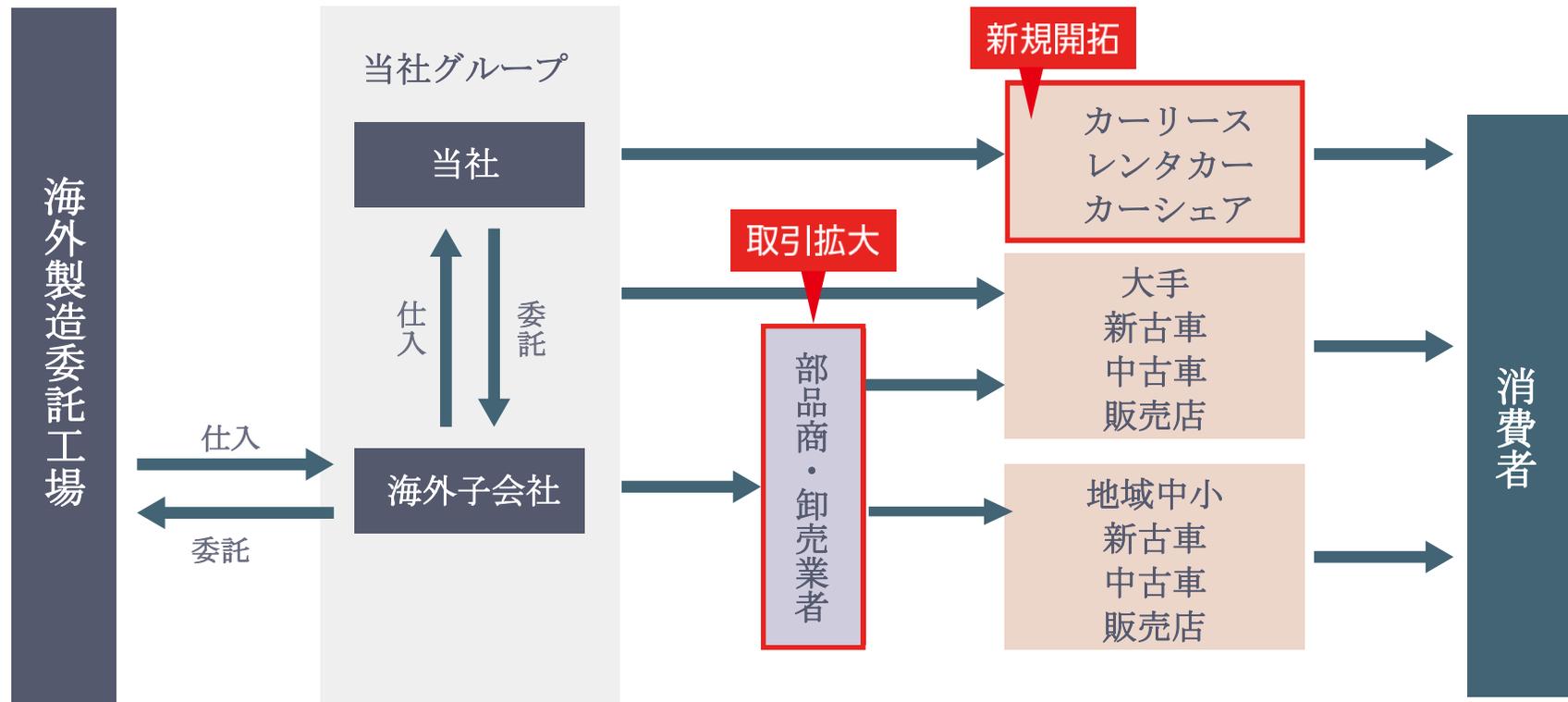
GROWTH STRATEGY

アフターパーツ版SPAモデルの確立



販売領域の拡大

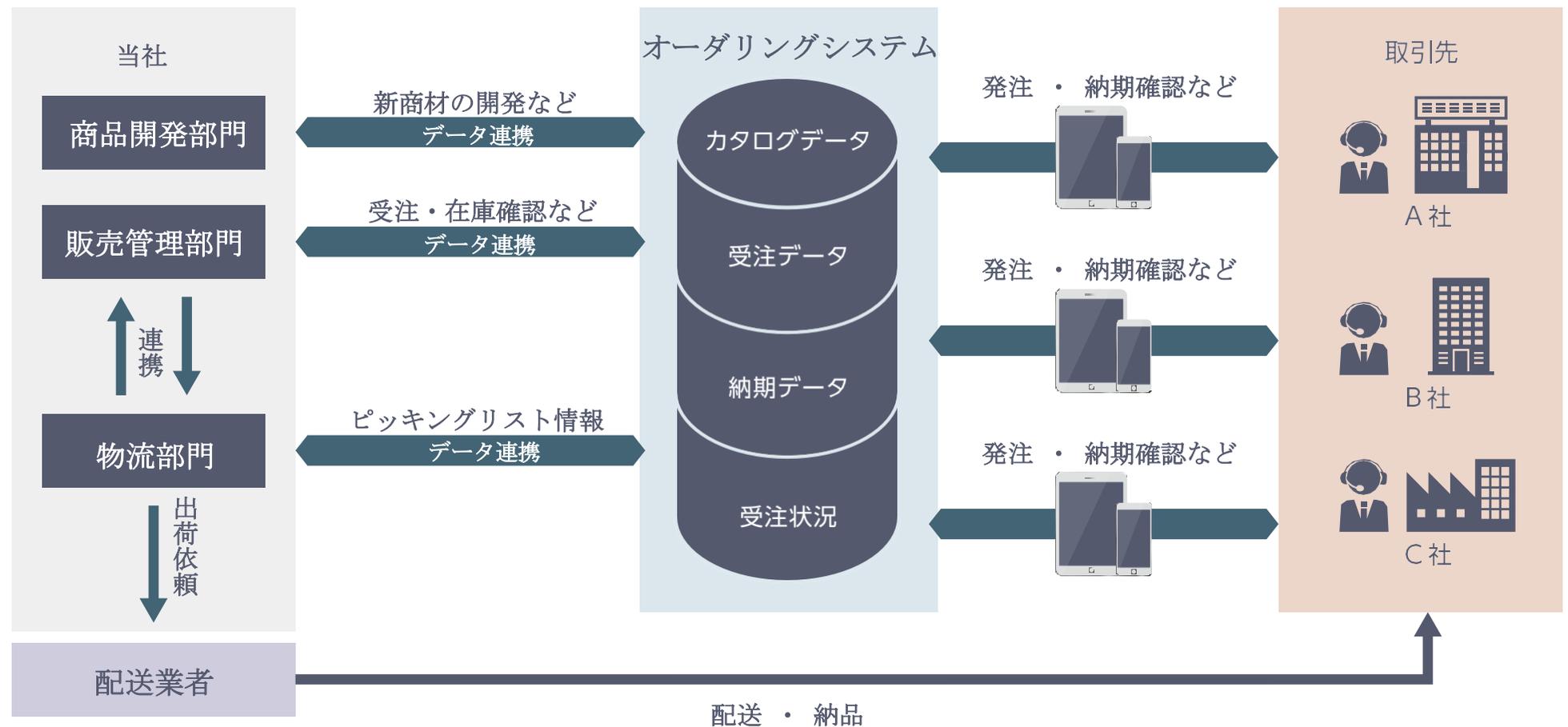
- 競争力の高いサイドバイザーとフロアマットで取引先の拡大に注力！
- カーリース・レンタカー・カーシェアリングを新規開拓！



長期的には数多くのアフターパーツ商材の中から開発商品を選定し、順次市場に投入してまいります。

D X 化 の 推 進 （ オ ー ダ リ ン グ シ ス テ ム の 開 発 ）

リピート営業および受注発注業務を効率化するとともに、
カタログ機能にて新商材の提案も行える体制を構築！



山口工場の操業開始

山口工場操業開始の効果

- 商品開発前の新たに発表された車種の商品開発が国内で行え、量産開始までは山口工場での製造が可能となりました。

(開発から販売開始まで最長約45日が最長約14日に)

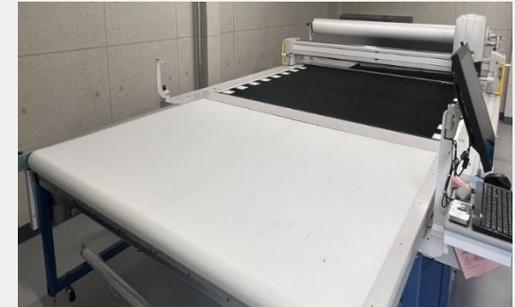
- これまで発生していた機会損失が減少したことにより、他社から当社へと仕入れ先を変えているお客様も増加しております。又、機会損失減少の要因には以下があります。

①サイドバイザー、フロアマットのセット販売が可能になったこと。

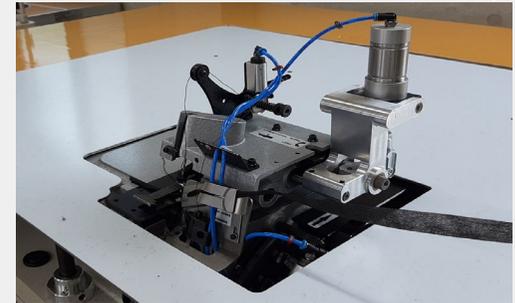
②少量多品種の受注への対応が可能になったこと。

主な設備の写真

自動裁断機



オーバーロック
ミシン



圧着機





お問い合わせ先

株式会社フロンティア 管理部

TEL : 092-791-8688 FAX : 092-791-9556

URL : <https://all-frontier.com/>

本資料にて開示されているデータや将来予想は、本資料の作成日現在の判断や入手している情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断により行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。